



No.31

平成25年10月22日発行

おい町

議会だより

Ohi Town Assembly Official Report



頭巾山青少年旅行村 (写真提供: 日本風景写真協会 知見 治 氏)

Contents

- こんなことが決まりました 2
- 委員会審議 4
- 町政ここが聞きたい! (9月定例会) 7
- 活動・研修報告 10
- あれからどうなったの? 11
- 輝く人 12

5回
臨時会

こんなことが 決まりました

6回
定例会

第5回臨時会(7月26日)では、議案3件が提案され、いずれも原案どおり可決しました。

第6回定例会(9月4日から26日)では、平成24年度決算認定をはじめ、補正予算や工事契約の締結など、報告2件、認定1件、議案16件が提案され、いずれも原案どおり可決しました。また陳情3件を審査し、すべて可決しました。

■第5回臨時会(7月)

■工事請負契約の締結

●おい町防災行政無線設備整備工事

デジタル方式による防災行政無線設備等を町内全域に整備するもので、北陸通信工業(株)敦賀営業所と5億6038万5千円で契約。

(全会一致・可決)

●南浦宅地分譲地造成工事

大島南浦に分譲地(21区画)を整備するもので、(株)山本組と5234万2500円で契約。

(全会一致・可決)

■工事請負変更契約の締結

●空調設備改修工事変更契約の締結

平成25年度設計労務単価に基づく請負代金額に変更するもので、223万6500円を増額し、

(株)荒木と1億6446万1500円で変更契約。

(全会一致・可決)

■第6回定例会(9月)

■平成25年度9月補正

3億8118万8千円

増額

総額137億5577万

5千円

●一般会計補正予算

〔主な歳出〕

○防災対策事業

はまかせ交流センターに防災倉庫を設置し、工具セットや緊急医療セット等を整備するもの。

250万円

○介護基盤緊急整備等補助事業

大島宮留に建設する小規模多機能ホームの、防火対策や熱中症対策等の設備を充実させるため増額するもの。

942万9千円

○企業振興対策事業

名田庄西谷に企業誘致のための敷地造成工事等を行うもの。

5570万円

○道路維持補修事業

小堀、村中才の木線の舗装整備、尾内長町線に木柵等を整備するもの。

830万

○台風18号(H25年9月15日~16日)災害復旧事業

道路や河川、排水路等の復旧工事で、特に緊急を要するもの。

2537万8千円

をす 芸ざ 園め 企業を誘致

○企業的園芸参入支援事業

〔補助金2億円〕

民間企業が、名田庄西谷にリーフレタスを栽培する施設を整備、経営することにに対し、福井県と町が必要となる設備等について支援する。操業開始は、平成26年4月予定。雇用は正社員2人、パート6人。(県費が1億5千万円・町費が5千万円)

■請願・陳情

○森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書採択に関する陳情

(全会一致・可決)

○地方財政の充実・強化を求める意見書採択について

(全会一致・可決)

○道州制導入に断固反対する意見書について

(全会一致・可決)

こんなことが決まりました

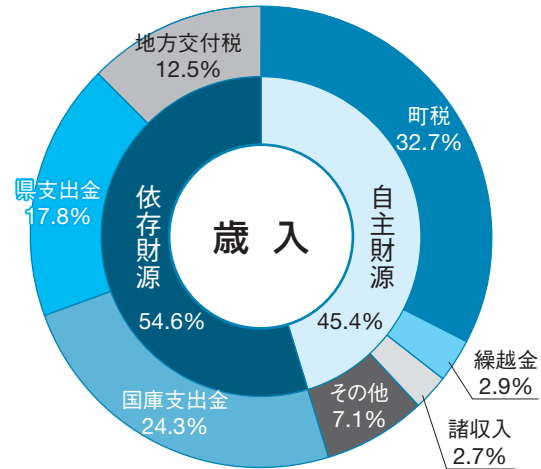
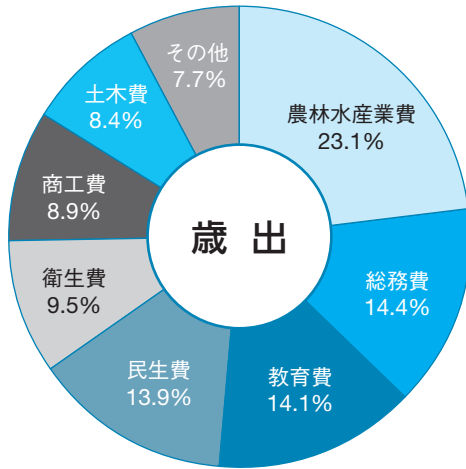
平成24年度決算

認定!

■一般会計

【歳出】 111億2779万1千円

【歳入】 116億1503万1千円



■特別会計

(単位：円)

区分	歳入			歳出			歳入歳出差引額
	総額	他会計繰入金	純計額	総額	他会計繰出金	純計額	
後期高齢者医療	90,183,865	26,003,465	64,180,400	89,479,765	0	89,479,765	△25,299,365
国民健康保険	740,382,194	49,254,522	691,127,672	740,382,194	0	740,382,194	△49,254,522
国民健康保険診療	89,955,715	2,352,242	87,603,473	89,955,715	0	89,955,715	△2,352,242
介護保険	769,350,914	137,585,922	631,764,992	768,070,793	0	768,070,793	△136,305,801
介護サービス	3,690,944	1,004,624	2,686,320	3,690,944	0	3,690,944	△1,004,624
簡易水道	501,009,689	377,030,412	123,979,277	501,009,689	0	501,009,689	△377,030,412
農業集落	319,261,083	231,414,790	87,846,293	319,261,083	0	319,261,083	△231,414,790
特定環境保全公共下水道	113,213,403	96,592,437	16,620,966	113,213,403	0	113,213,403	△96,592,437
合計	2,627,047,807	921,238,414	1,705,809,393	2,625,063,586	0	2,625,063,586	△919,254,193

(単位：%)

項目	本町の比率 (前年値)	早期健全化 基準	財政再建 基準
		イエローゾーン	レッドゾーン
実質赤字比率	赤字なし (赤字なし)	14.74	20.0
連結実質赤字比率	赤字なし (赤字なし)	19.74	30.0
実質公債費比率 ^{※1}	4.3 (5.8)	25.0	35.0
将来負担比率 ^{※2}	赤字なし (赤字なし)	350.0	-
資金不足比率	不足なし	20.0	

※1 自由になる財源の内、借金返済の割合。

※2 自治体が将来支払う可能性がある負債の一般会計に対する比率。

【監査報告から】
 おおい町の財政は、依然として健全な水準を保っており、地方債残高の減少と、突出した積立金残高を保有する確固たる財政基盤に支えられています。
 しかしながら、目まぐるしく変化する財政環境の変化は予断を許さず、この変化に適切に対応し、将来に備えた健全な財政運営を推進していく必要があります。

一般会計 賛否あり 討論概要

賛成討論

松宮史知 議員

各課の決算報告を見れば23年度からの改善点等を意識し24年度予算執行が執行されていることが読み取れる。さらに人件費が徐々に減少している点からも、精度の高い予算編成と経常経費の削減努力がなされていると評価する。加えて財政健全化4指数をはじめ実質収支比率においても優良な健全性が証明されている。

反対討論

猿橋 巧 議員

原子力関連に依存した財政運営の危険性と、ポスト原発に向けた企業誘致に特別な成果が見られないこと、また、子ども家族館運営に関して県費投入がなされていないことや、非正規職員の割合が高く、財政規模に応じた正規職員を配置していないことなどから反対する。

こんなことが決まりました

慎重にチェック

委員会 審議

予算決算常任委員会

■主な審議内容

平成24年度一般会計歳入歳出決算認定について、項目ごとに細かく審査しました。

また、補正予算についても慎重に審査しました。

■主な質疑

●認定1【決算審査】

問 町税の内、大規模償却資産税はいくらになっているのか。

答 22億7778万5千円である。

問 ふるさと納税給付金は何人から納められたものなのか。また納められた方への特典はあるのか。

答 件数は7件あり、124万円となった。また、ふるさと納税を納められた方には、町の特産品等を詰め合わせた物を送っている。

予 算 決 算 常 任 委 員 会

■主な審議内容

財政調整基金に2億5千万円の積立があるが、決算では4億8千万円程度の赤字があるので、基金へもつと積み立ててはどうか。

答 地方財政法から可能であるが、繰越明許費への充当分と25年度補正予算見込み分について繰り越しを行った。

問 地方債の償還は毎年あり、24年度では、5億2300万円余り元金償還をしているが、そのうち、交付税措置で行われている金額はいくらになるのか。

答 交付税の対象になっっている額は、4億1003万4千円である。

問 買い物代行事業の実績は登録者が22名で延べ56回の利用があったが、決算額ではどのようになるのか。

あったが、決算額ではどのようになるのか。

答 社会福祉協議会に買い物支援の人員費と事務費相当を委託料として支出しており、件数によって委託料を変動することにはなっていない。



買物代行事業

問 (株)名田庄きのこセンターで、未収となっている土地の賃借料の回収状況はどうなっているのか。

答 貸付収入未済額は11万8402円、滞納繰越分として85万1406円あるが、滞納繰越分については、今年の5月30日に全額入金済みとなっている。また現年分については、8月以降に資金回収の見込みがある。

円あるが、滞納繰越分については、今年の5月30日に全額入金済みとなっている。また現年分については、8月以降に資金回収の見込みがある。

問 役場正規職員と非正規職員の人数は。正規職員の人数は。24年4月1日現在で、正規職員が185人、非正規職員が延べ245人である。

答 保育士等処遇改善臨時特例事業は私立保育所に対して交付するものであるが、公立の現状と比較すると、その差はどうなるのか。

答 私立の現状は、正規保育士の平均年齢が35歳で、その給料については約20万円である。それと比較すると、公立の方が高い。

問 企業支援の植木工場型補助金は、1

事業主体あたりの事業費が3億円であれば、県が1億5千万円、町が5千万円の2億円補助だが、町の企業誘致支援制度と比較すると、補助金額はどの程度の差がでるのか。

答 町単独事業の補助率は25%で、事業費3億円で計算すると、7千500万円となるが、県補助金はないので、県の補助を受けた方が有利である。

問 行政財産の土地使用料で172万3千円の歳入があるが、この内容は。

答 うみんぴあ大飯内の駐車場1万800平方メートルを、大飯原子力発電所3、4号機の定期検査等作業員臨時駐車場として4カ月間貸し出し、使用料を徴収するものである。

企業支援の植木工場型補助金は、1

総務常任委員会

■主な審議内容

総務常任委員会では議案2件・陳情1件について、慎重に審査しました。

■主な質疑

●議案61「工事請負契約の締結について（庁舎非常用自家発電機更新工事）」
保守費用は、他の

問 平均的な補修費用と比べると妥当なものか。

答 年1回の起動試験と毎月点検を含め年80万円としているが、現在の発電機より大型となることから、現行の費用より高くなる。

問 発電機の更新に伴い新駐輪場は現行より小さく9台分となるが、容量は十分か。

答 役場自転車と来客自転車については十分対応できると考えている。

産業建設常任委員会

■主な審議内容

産業建設常任委員会では議案5件・陳情1件について、慎重に審査しました。

■主な質疑

●議案59「中山間地域総合整備事業実施計画について」
農業用排水事業で、受益面積が1

問 農業用排水事業で、受益面積が1

答 1畝未満の施設は、基本的に町単独事業を利用してもらい、10%の受益者負担金を負担してもらうことになる。本計画では、直接農業生産に係る事業や集落の活性化に繋がるような事業は見受けられないが、町民の要望等

問 農業生産に係る事業や集落の活性化に繋がるような事業は見受けられないが、町民の要望等

答 今回の変更契約が承認されると、

産業建設常任委員会

■主な審議内容

産業建設常任委員会では議案5件・陳情1件について、慎重に審査しました。

■主な質疑

●議案60「特定事業変更契約の締結について（おい町複合型交流施設整備PF事業）」
今年、価格指数が95.3%から91.1%に下がったことから

問 今年、価格指数が95.3%から91.1%に下がったことから

答 今年、価格指数が95.3%から91.1%に下がったことから

問 今年、価格指数が95.3%から91.1%に下がったことから

答 今年、価格指数が95.3%から91.1%に下がったことから

産業建設常任委員会

■主な審議内容

産業建設常任委員会では議案5件・陳情1件について、慎重に審査しました。

■主な質疑

●陳情5「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書採択に関する陳情」
昨年同様の意見書を提出しているが、何ら環境の変化も現れておらず、採択すべきものと決定した。

問 昨年同様の意見書を提出しているが、何ら環境の変化も現れておらず、採択すべきものと決定した。

答 昨年同様の意見書を提出しているが、何ら環境の変化も現れておらず、採択すべきものと決定した。

問 昨年同様の意見書を提出しているが、何ら環境の変化も現れておらず、採択すべきものと決定した。

答 昨年同様の意見書を提出しているが、何ら環境の変化も現れておらず、採択すべきものと決定した。



既設駐輪場撤去



■平成25年第5回(7月)臨時会 議案審議結果

議案番号	議案名	議決結果	議案番号	議案名	議決結果
議案48	工事請負契約の締結について (おおい町防災行政無線設備整備 工事)	原案可決	議案50	工事請負変更契約の締結について (空調設備改修工事)	原案可決
議案49	工事請負契約の締結について (南浦宅地分譲地造成工事)	原案可決			

■平成25年第6回(9月)定例会 議案審議結果

議案番号	議案名	議決結果	議案番号	議案名	議決結果
報告 8	平成24年度決算に基づく健全化 判断比率の報告について	報 告	議案62	工事請負契約の締結について (道路改良工事(小堀線))	原案可決
報告 9	平成24年度決算に基づく資金不 足比率の報告について	報 告	議案63	工事請負契約の締結について (橋梁維持補修工事(赤礁橋))	原案可決
認定 1	平成24年度一般会計及び8特別 会計歳入歳出決算の認定について	認 定	議案64	工事請負契約の締結について (過年発生公共土木施設災害復旧 工事(小谷橋))	原案可決
議案51	平成25年度一般会計補正予算 (第2号)	原案可決	議案65	動産の取得について(保健・医療・ 福祉総合施設診療所等医療情報シ ステム(電子カルテ)機器)	原案可決
議案52	平成25年度後期高齢者医療事業 特別会計補正予算(第1号)	原案可決	議案66	平成25年度一般会計補正予算(第 3号)	原案可決
議案53	平成25年度国民健康保険事業特 別会計補正予算(第2号)	原案可決	陳情5	森林吸収源対策及び地球温暖化対 策に関する地方の財源確保のため の意見書採択に関する陳情	採 択
議案54	平成25年度国民健康保険診療事 業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	陳情6	地方財政の充実・強化を求める意 見書採択について	採 択
議案55	平成25年度介護保険事業特別会 計補正予算(第1号)	原案可決	発委4	「森林吸収源対策及び地球温暖化 対策に関する地方の財源確保」の ための意見書について	原案可決
議案56	平成25年度簡易水道事業特別会 計補正予算(第2号)	原案可決	発委5	地方財政の充実・強化を求める意 見書について	原案可決
議案57	平成25年度農業集落排水事業特 別会計補正予算(第1号)	原案可決	発議1	道州制導入に断固反対する意見書 について	原案可決
議案58	平成25年度特定環境保全公共下 水道事業特別会計補正予算(第2 号)	原案可決			
議案59	中山間地域総合整備事業実施計画 について	原案可決			
議案60	特定事業変更契約の締結について (おおい町複合型交流施設整備PFI事業)	原案可決			
議案61	工事請負契約の締結について (庁舎非常用自家発電機更新工事)	原案可決			

■賛否が分かれた議案

	尾谷	松宮	森口	猿橋 啓	浜上	今川	森内	古石	小川	新谷	松井	中本	猿橋 巧
認定 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案51	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案60	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

○は賛成 ●は反対 除は除斥 退は退席 欠は欠席(※中塚寛議長は採決に加わらない。)

町政こことが聞きたい!

9月定例会では、6人の議員が一般質問をしました。

町長 今後の原子力政策をどのように展開していくのか
町長 国策であり、国の一元的責任を大前提に共生を図る



浜上 雄一

問 原子力事故に際し、国の指示にそぐわない判断もあり得ると思うが。

答 (町長) 町民の生命を守るべき緊急時においては、状況に応じた判断が必要である。

問 発電所誘致時の夢はどの様に達成され、新たにどの様な問題が生じているのか。

答 (町長) 雇用の確保と、町の基盤整備を進め、町民の生活水準も大きく向上する等

町勢は着実な発展を遂げている。一方、複雑かつ多様化する住民ニーズには、行政だけの責任に限界もある。

問 使用済み燃料の保管スペースが逼迫している。

答 (町長) 放射性廃棄物も含め、長期保管は容認できない。燃料プールは、あと7年程度で満杯になる。知事は「中間貯蔵施設を県外に」と求め、事業者も推進体制を強化してほしい。

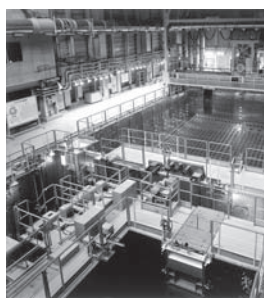
問 多大の貢献をしてきた大島半島を核廃棄物の最終処分場にしてはならないが。

答 (町長) まだ7年あり、状況を注視したい。

問 事業者の財務状況は、地域経済にも

町財政にも大きな影響があるが、後年度の行財政運営の方向性はどうか。

答 (町長) 町の財政基盤は発電所立地よって支えられており、「エネルギー基本計画」の論議を見極めながら、町の総合計画や財政計画などの見直しも視野に検討したい。



使用済燃料ピット

町長 あみーシャン大飯で大規模修繕が必要となった場合、温泉を利用できない期間が長引かないか
町長 定期検査の実施により、長期間休業するような修繕は想定していない



古石 實

問 あみーシャン大飯「ゆつたり温泉」の隣接地に、もう一箇所の施設を造るようなことは考えられないか。

答 (町長) 定期的に必要な修繕を行っており、早めの対応で安全で快適な設備の維持に心がけている。もう一箇所の施設の開設は、投資効果や維持管理等を考えると現時点では難しい。

ホームプラザナフコが予定から2年以上に渡り開業が延期となっているが、一定の判断を行う時期に来るのではないかと

町長 原子力規制委員会の安全審査について結論時期が見通せない等の理由から、経営会議において進出が保留となっている。期待に答えられず心苦しいと思っている

問 原子力が条件と思えない。

答 (町長) おおい町の場合は購買力においても小さいものと思われる。

問 町長は3月議会でトップセールスを

答 (町長) 今任期中の仕事と考えている。するとの覚悟だった。年内に目途を立てる強い意思を期待している。



町政こことが聞きたい!

町の人口予測は、23年後には5600人になる。減少がこのまま進むと町はどういう事態になるのか

町長 私も分からない。皆で支えていくしかない



今川 直樹

本計画での位置づけが全てになる。

いずれ廃炉を迎える。代替産業は今から対応しないと間に合わない。

町長 今は再稼働のみしか考えてない。特別養護老人ホームの入所待機者の現状は

なごみ保健課長 楊梅園で33人だが予約的な申し込みもあり実際7名である

町長 今は、現存の運転再稼働のみしか考えていない

町長 今は、現存の運転再稼働のみしか考えていない

町長 今は、現存の運転再稼働のみしか考えていない

町長 今は、現存の運転再稼働のみしか考えていない

副町長 基準により適用される。

空き家の現状と対応は

企画課長 160戸で増加傾向にある

町長 放置すれば景観や美観を損ね危険でもある。国の法律整備も

副町長 所有者に依頼するしかない。町民は荒れる農地を見て何とかして欲しいと願っているが耕作放棄地の現状と対応は

町長 耕作放棄地は33軒になり、貸し手借り手どちらにもメリットある対策も講じている。

町長 耕作放棄地は33軒になり、貸し手借り手どちらにもメリットある対策も講じている。

町長 耕作放棄地は33軒になり、貸し手借り手どちらにもメリットある対策も講じている。

防災意識の高揚と災害対応力の強化について。町はどう具現化するのか

町長 防災マップ等を活用した訓練を町民と共に実施する



松宮 史知

防災意識の高揚と災害対応力の強化について町はどのように具現化するのか。

町長 防災意識の向上や災害時に備えた事前の備えを心がけていただくために総合防災マップを作成した。平時からこれを避難場所、避難経路の確認等に使用し意識向上を図っていただきたい。

総合防災マップや避難マニュアル等を活用した防災訓練を定期的を実施するとともに自主防災組

福井県の「佐分利川水系河川整備計画」によれば佐分利川のJ R橋梁付近の流下能力は30年確率の計画高水量をクリアしていない。管理者である県と早急に改修に向けた協議を開始していただきたい。

町長 指摘のJ R橋梁付近の堤防高の問題は、先ず、河川管理者である県において調査等を実施していただき、その結果を検証した上で、防災対策上必要な措置を速やかに講じていただくよう要望する。

津波、佐分利川J R橋梁付近の流下能力は計画高水量以下である

建設課長 県と協議を開始する



佐分利川 本郷付近

大飯発電所 南側トレンチF-6破砕帯調査 現場の安全対策は十分か

町長 事業者に日々の安全確認を強く指導している



森内 正美

問 F-6破砕帯の活動性について、規制委員会の調査が行われたが、その現場内の安全性（台風や集中豪雨に対する法面崩壊、山留め工排水処理など）について事業者から十分な報告をうけているか。また、町として安全対策にどう関与しているか。

答 （町長）大飯発電所南側トレンチは、F-6破砕帯のデータ拡充を目的に規制委員会

の指示により掘削された。既に現地調査が行われ、

活断層ではないとの意見で一致を見たことされており、データが採取された現在では、必要性はなくなったものと思われる。

今回のトレンチ掘削は、

町との安全協定に基づき、自然公園法に係る許可申請の事前連絡として、計画書が提出され、事業者から施工状況の報告を受けるとともに、現場確認を適宜行っている。



F6破砕帯トレンチ

問 安全に対する考え方や意識の向上の

ため、町の課長クラス全員が掘削現場を確認をし、認識の共有が必要だと思

答 （副町長）課長クラス

の現場視察は検討する。

鳥獣被害防止緊急対策事業の進捗は

農林水産振興課長
24年度で68%完成

問 本年度の新規金網柵工事は、計画ど

おり進んでいるか。

答 （農林水産振興課長）今年度計画の

31.5kmのうち22.8kmは完成の見込みで、残り8.7kmは、少しでも多く設置できるように検討する。

憲法の平和条項を守れ

町長 国会で十分な議論を交わして欲しい



猿橋 巧

問 平和条項の第9条「戦争の放棄」第

96条「国会決議員2/3以上賛成」更に集团的自衛権行使容認は、日本を戦争する国にする流れで断固反対だ。

答 （町長）日本の将来を方向付ける憲

法改正の論点は国会で十分な議論を交わして欲しい。

問 9月15日の全国戦没者追悼式には、

国から半旗や鐘・サイレン等を鳴らす等の10項目の要請に対して、本町は

周知されていないが。

答 （副町長）戦争の悲惨さを語り継ぎ

恒久平和を築く責務があるので、今後は周知のあり方を検討していきたい。

福祉灯油助成制度を再度実施しては

住民福祉課長
今冬季の助成は、価格推移や、国・県の動向を踏まえて考える

問 各種油脂（軽油・A重油）補助は1

円当たり10円だが、25円の自治体もあり、更に充実しては。

答 （農林水産振興課長）実績に基づき

交付申請を受けており、現時点では、利用実態や効果を把握できていない

ので、事業内容の変更は考えていない。

問 町内各区の中には役員不足や町行事

不参加等があり、区の再編成は必要で、高齢化の高い行政区の活性化対策を問う。

答 （総務課長）町内63区の問題・格差

の解消には区の再編は有力との認識はしており、各区の機運等主体的な取り組みを見極めさせてもらう。

活性化策は区長連絡協議会で共通課題の議論がなされ、地区の要望や意見が出されているので、対策協議会の立ち上げは必要ないと考えてる。

議会活動・研修報告

■小浜市・おおい町議員総合 振興協議会

〔期 日〕平成25年7月26日
〔場 所〕里山文化交流センター
〔参加者〕議員14名
〔協議内容〕

・地域経済の振興策
・北陸新幹線若狭ルートの現状と課題
・市町道路網整備促進 等

■委員長・副委員長研修会

〔期 日〕平成25年8月9日
〔場 所〕福井県自治会館
〔参加者〕議員5名
〔研修内容〕

・議会委員会運営について（32項目）

■要望活動

〔期 日〕平成25年8月29日・30日
〔場 所〕東京都中央官庁等
〔参加者〕議長、副議長、各常任委員長、議会運営委員長
〔要望内容〕

●原子力二元管理責任の確実な遂行

①原子力政策について
②地域支援策について
③使用済み核燃料について
④災害制圧・避難について

●生命、生活、避難道路網の早期整備について

①主要地方道 坂本・高浜線の早期完成について
②一般県道 岡田・深谷線の早期開通について
③国道162号（深谷・相生間）道路整備の早期完成について
④原子力災害制圧道路に接続する橋梁の新設整備と赤礁崎公園線の道路改良について
⑤主要地方道小浜綾部線の国道昇格について

■福井県町議会議員研修

〔期 日〕平成25年9月2日
〔場 所〕福井県自治会館
〔参加者〕議員14名
〔研修内容〕
・議会運営の在り方等

委員会活動・研修報告

■広報特別委員会研修

〔期 日〕平成25年7月3日
〔場 所〕福井県自治会館
〔参加者〕委員6名
〔研修内容〕

・県町村議会議長会議会広報研究会（県下議会の広報クリニック）



■議会運営委員会研修

〔期 日〕平成25年8月5日・6日
〔場 所〕神奈川県葉山町ほか
〔参加者〕委員6名
〔研修内容〕
・議会活性化の取り組み状況について
・議会基本条例の特筆すべき条文等

・議会報告会、インターネット中継実施等

■原子力発電対策特別委員会研修

〔期 日〕平成25年7月29日
〔場 所〕おおい町役場
〔参加者〕委員13名・議長
〔研修内容〕
・実用発電原子炉に係る新規制基準について



原子力規制委員会からの説明

〔期 日〕平成25年9月9日
〔場 所〕大飯発電所
〔参加者〕委員13名・議長
〔研修内容〕
・大飯発電所敷地内破砕帯（南側トレンチ）現地確認

追跡

1年前の一般質問

あれからどうなったの？

a follow-up survey

議会だよりでは、定例会での一般質問の要旨を掲載していますが、議員からの提案などが、その後どのように町政に反映されたかを、追跡調査してみました。今回は、平成24年9月定例会からピックアップしました。



観光客誘客への今後の対策は

観光客の入込状況は。交流人口の拡大策として今後どのように導こうとしているのか。
(浜上雄一 議員)

課長答弁

関係機関と連携し、広域的に取り組む

昨年比約14%減少。観光協会を中心に、県や関係市町と連携し広域的誘客に取り組む中。交流の場として賑わい施設に観光ブースを設ける。

どうなった？

広域各方面へのプラン展開で誘客25%増加した

県外へ観光PR（関西・中京・舞鶴道SA）、物販活動（東京）、県外学生合宿誘致、道の駅対面観光案内などの取組みをした。



道の駅「うみんぴあ大飯」



県原子力防災総合訓練（大飯中学校体育館）



県の指定する原子力災害避難先は疑問

県が暫定措置指定した県内避難先（敦賀市）は、風向き・地形考慮において実効性に乏しいのでは。
(猿橋巧 議員)

副町長答弁

県域を越えた避難は国や県の指導が必要

地域のコミュニティ機能維持の観点から集落単位避難が基本。より実効性が高まるよう調査研究を進めていく。

どうなった？

県外広域避難先を指定・兵庫県へ

30km圏外への県外広域避難先が指定された。（おおい町は兵庫県へ）

あれからどうなったの？

名田庄久坂区 溝口 智也さん

新しい農業経営を行うあこがれのカリスマ農家さんとの出会いをきっかけに、地域と密接に関わりながら営む農業というものに魅力を感じ、何らかの形で生まれ育った地域に役立つことが出来るのではないかと考え農業を始めました。

非農家出身であり準備には苦勞もりましたが、一年間研修をさせていただいた地元のベテラン農家さんや前述のカリスマ農家さん、町や県、JA営農担当の方々のサポートのおかげで、県から就農計画を認められた『認定就農者』となり、晴れて今年度より営農を開始することが出来ました。

一年目の今年は、農業の魅力の一つである『自然』からの洗礼を受ける事になりました。夏場の強風で、主力作物であるキュウリの支柱がなぎ倒され、収量が目標の60%になり、さらに、台風の影響で、夏秋ナスの支柱が一部倒壊するという被害にもあいました。

順風満帆というスタートではありませんが、課題を解消し、将来的にはもっと作目を増やし、栽培して出荷だけでなく、加工・販売を行ったり、野菜ソムリエの資格を生かして生産物の食べ方・楽しみ方を提案するなど、多角的な農業経営を行いたいと考えています。



栽培しているズッキーニ



輝くかがや

佐分利見守り隊

万願寺区 木村 恒雄さん

午前7時のチャイムを合図に集合場所へと児童達が集まってきます。「おはよう」「おはよう」少し眠そうな表情を浮かべながら、それでも元気よく家から飛び出していきます。

これから、3.5km先の小学校に向かって歩くのです。児童達は、おしゃべりをしながら前や後になり歩いていきます。その児童達を後方からそっと見守りながら一緒に登校するのが、今回ご紹介する佐分利見守り隊の木村恒雄さんです。お孫さんの入学を期に毎日児童達に付いて登校され、今年で三年目を迎えられる。

登校する通学路は各区からの児童で賑やかになり、その児童達が学校に入るのを見届けると踵を返し、帰路につきます。そして下校時になると再び木村さんは学校に向かい、校門の外で児童を迎え一緒に下校されます。

毎日同行しているといろんな事があるそうです。台風や吹雪の日に安全を確保する事、時には途中でお腹が痛くなったり、ケガをする事もあり、そんな事態に備えて救急セットはいつも携帯されているそうです。また、ある時には通学路を横切るイノシシを見かけたことも。

平成25年度の佐分利見守り隊には、13名の方が参加し活動されています。児童や学校との関わりがなくともボランティアとして協力されている方もあります。

木村さん達の見守り活動に感謝すると同時に、今後も見守り活動が継続できるよう、ボランティア活動の輪が大きく広がることを願うばかりです。(森口 記)

議会の傍聴に来てみませんか

おい町議会では、本会議をはじめ議員全員協議会や各委員会も公開しています。次回の定例会は12月です。傍聴について詳しくは議会事務局(77-1111内線312)までお問い合わせください。

12月定例会
の予定

会 期：12月6日から20日まで(15日間)

本会議：6日(議案提案理由説明)、17日(一般質問)、20日(採決)

委員会：予算決算委員会(6日)、総務、産業建設委員会(10日)、原子力特別委員会(11日)

【編集後記】

2020年のオリンピックとパラリンピックの東京開催が決まりました。世界最大のスポーツの祭典は大いに盛り上がることでしょう。また、2018年には福井国体が開催されます。おい町にもスリングと野球競技が指定されており、選手の受け入れなど町民の皆さんの協力が不可欠で、これをきっかけとした絆の深まりに期待したいところです。

1 順目の福井国体は45年前の昭和43年でした。当時の統計年鑑を見ていたら面白いことを発見しました。当時の人口は大飯町5902人、名田庄村3698人で、現在ではそれから804人減少しています。財政規模は、大飯町19億7983万円、名田庄村26億5211万円(現在と比較すると劇的に変化しています)。

議会では、団体やサークル、企業等の皆様とより密接に話し合える「出前懇談会」を行っていますのでぜひ活用ください。

(今川 記)